

当院での災害対策への取り組み



両国東口クリニック

大山 恵子

2009/1/18: 城東CKDフォーラム

施設紹介

コンソール:23台

スタッフ:常勤医師 3名

看護師 11名

臨床工学技士 4名

臨床検査技師 1名

管理栄養士 1名

透析患者数:105名(平均61.6歳)

(月・水・金 3クール)(火・木・土 2クール)



取り組み

- ・171伝言ダイヤルの実施(毎月1日)
2005年6月から開始
- ・災害支援船など講演会への参加呼びかけ
- ・避難訓練
 - スタッフの機器操作(コンソール単独操作への切替、液流量変更操作) 毎月1日練習
 - 患者の避難、誘導訓練(入室時は運動靴)
- ・透析災害食の実際の試食と購入

171伝言ダイヤル(特に働きかけを行わなかった時)

2007年8月1日運用分						
	した()	しない(x)	つうじない	した()	しない(x)	つうじない
月水金AM	8/19	9/19	2/19	42.1	47.4	10.5
月水金 2	2/8	5/8	1/8	25%	62.5%	12.5%
月水金PM	4/21	15/21	2/21	19.0%	71.4%	9.5%
火木土AM	5/20	15/20	0/20	25%	75%	0%
火木土PM	10/19	7/19	2/19	52.6%	36.8%	10.5%
HDスタッフ	5/16	11/16	0/16	31.3%	68.8%	0%
外来・事務	0/8	8/8	0/8	0%	100%	0%
	34/111	70/111	7/111	30.6%	63.1%	6.3%

アンケートの結果、先月は聞いたとか今月だけ忘れたとかという返事が多かったです、スタッフも含めもう少し訓練を行えるように努力が必要のよ

新入職員で知らなかったスタッフへは教えました。

171伝言ダイヤル(キャンペーン実施)

2007年9月1日運用分						
		しない(×)	つうじない	した()	しない(×)	つうじない
月水金AM	10/19	7/19	2/19	52.6%	36.9%	10.5%
月水金 2	5/8	2/8	1/8	62.5%	25.0%	12.5%
月水金PM	6/22	12/22	4/22	27.3%	54.5%	18.2%
火木土AM	16/18	2/18	0/18	84.0%	16.0%	0%
火木土PM	11/18	4/18	3/18	64.7%	17.6%	17.6%
HDスタッフ	14/15	1/15	0/15	93.3%	6.67%	0%
外来・事務	11/11	0/11	0/11	100%	0%	0%
	73/111	28/111	10/111	65.8%	25.2%	9.0%

アンケートの結果、先月より今月のほうが明らかに多かったです、キャンペーンの努力の結果が出たようです

新入職員で知らなかったスタッフへは教えました。

スタッフに関しては、全スタッフで1名のみ体験していないという、素晴らしい結果でした。

Webでの確認も出来る事を連絡して実施

2007年9月1日運用分						
	した()	しない(x)	つうじない	した()	しない(x)	つうじない
月水金AM	5/21	16/21	0	23.8%	76.2%	0%
月水金 2	5/12	7/12	0	41.7%	58.3%	0%
月水金PM	6/22	16/22	0	27.3%	72.7%	0%
火木土AM	7/21	14/21	0	33.3%	66.7%	0%
火木土PM	9/19	10/19	0	47.4%	52.6%	0%
HDスタッフ						
外来・事務						
全体	32/95	63/95	0	33.7%	66.3%	

アンケートの評価・考察

171伝言ダイヤルを開始した当初は、ものめずらしさもあり1日に何回も試したり、操作や手順を間違えて伝言が聞くことが出来ないということがあった。

当院では早い段階から毎月1日に行っているが、キャンペーン期間を除くと実施率は増加していない。

月水金の夜間の患者(平均年齢46.7歳)の実施率が常に悪いことから、Webにて伝言ダイヤルが出来る事をアナウンスしたが実施率の上昇には繋がらなかった。

毎月1回利用することにより操作や手順の誤りは少なくなり災害時に有効に活用できると感じた。

しかし、長年行っているとマンネリ化してしまい特定の患者に偏ってしまう傾向がある。特に若年層の患者で実施率の低下傾向がある。

伝言の内容などを工夫したり定期的にキャンペーンを行って実施率を上げていく必要があると考える。

災害時を想定したアンケートの実施

- 患者指導の一環として2パターンのアンケートを実施した。

患者自身の認識度を確認する

患者さま自身が透析条件をどの位理解できている
(回答：90名 平均年齢：60.4歳)

- 他の施設に行った際に、透析条件がどの位話せるか

患者自身の意識度を高める

災害時に必要な膜と自宅への備蓄について
(回答：93名 平均年齢：61.4歳)

- 全て依存するのではなく、自身で出来る事の確認

緊急透析問診票 (赤の部分には記入しないで)

氏名 _____ 歳 男・女

通常透析施設名 _____ クリニック・病院・医院

DW _____ kg 本日の体重 _____ kg

1 週間の透析回数 _____ 回

1 回の透析時間 _____ 時間 _____ 分

通常使用している

ダイライザ - 名称 _____ m²

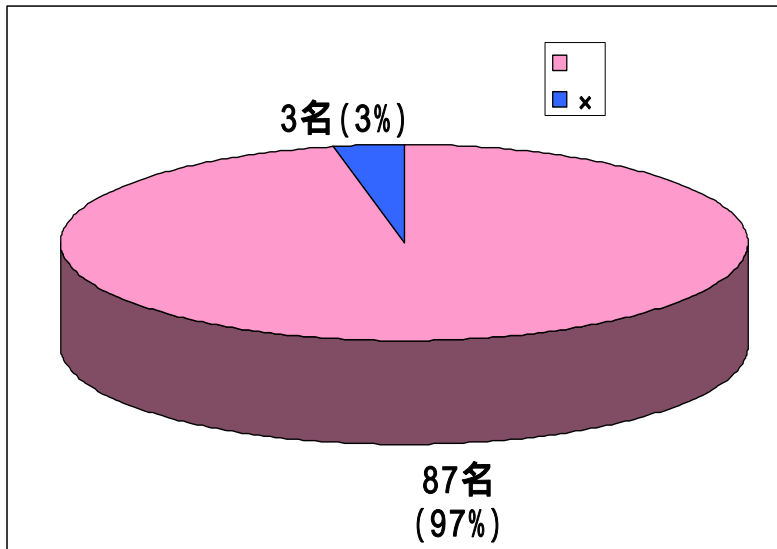
血液流量 _____ ml/分

通常使用している抗凝固剤

ヘパリン・低分子ヘパリン・フサン(メシル酸ナファモスタット)

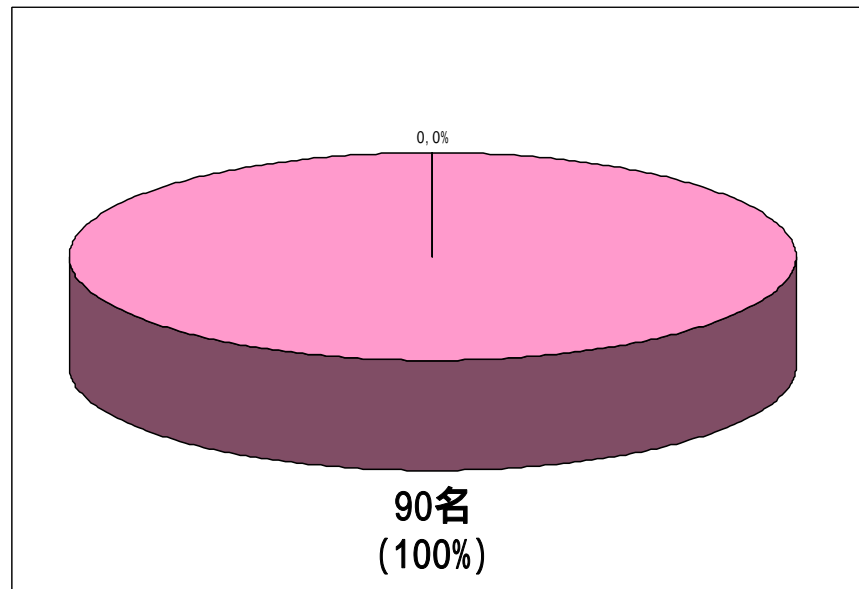
使用量

透析施設名

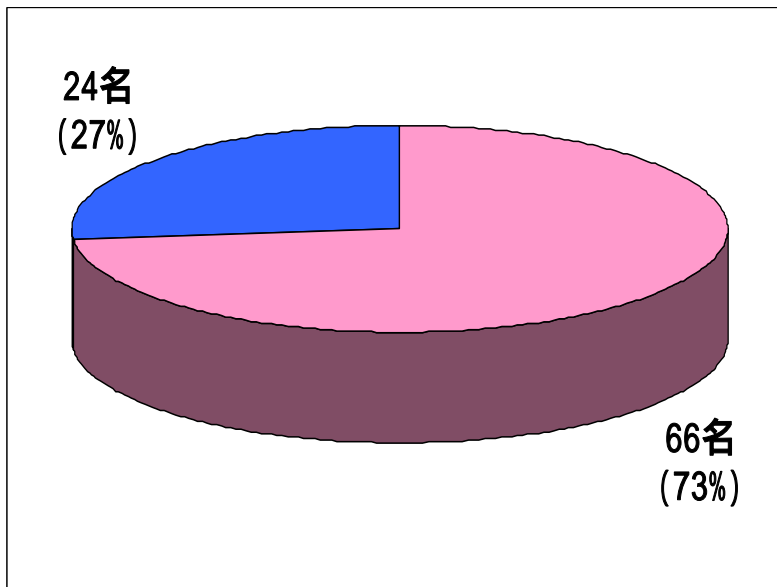


:59.8歳
x :77.3歳

透析時間 透析回数



DW

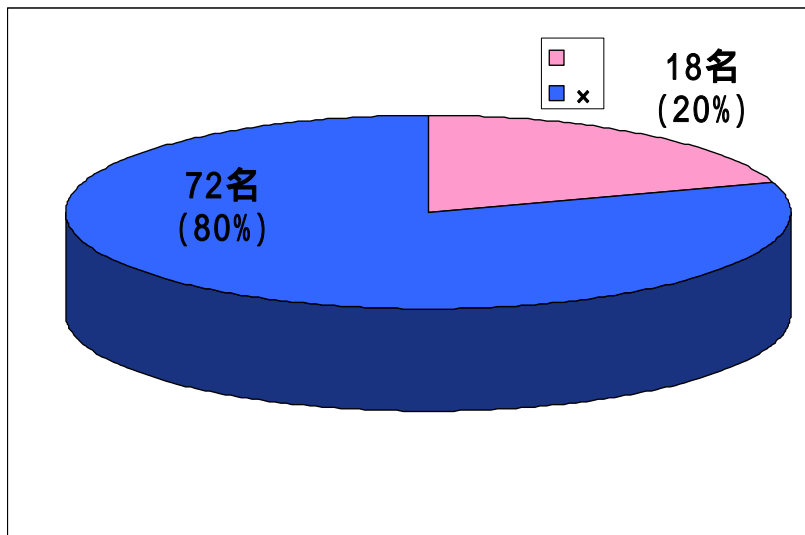


:57.9歳
x :67.4歳

ダイアライザー

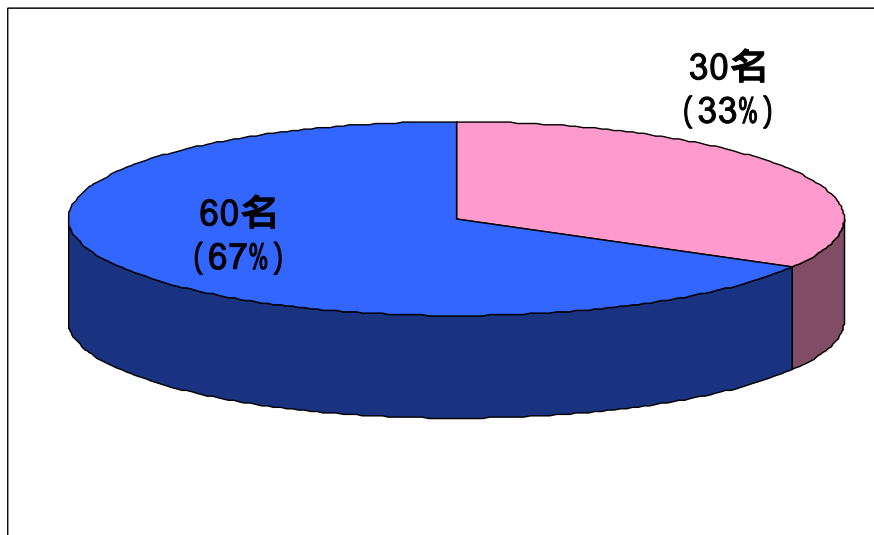
名称

:59.4歳
x:60.7歳

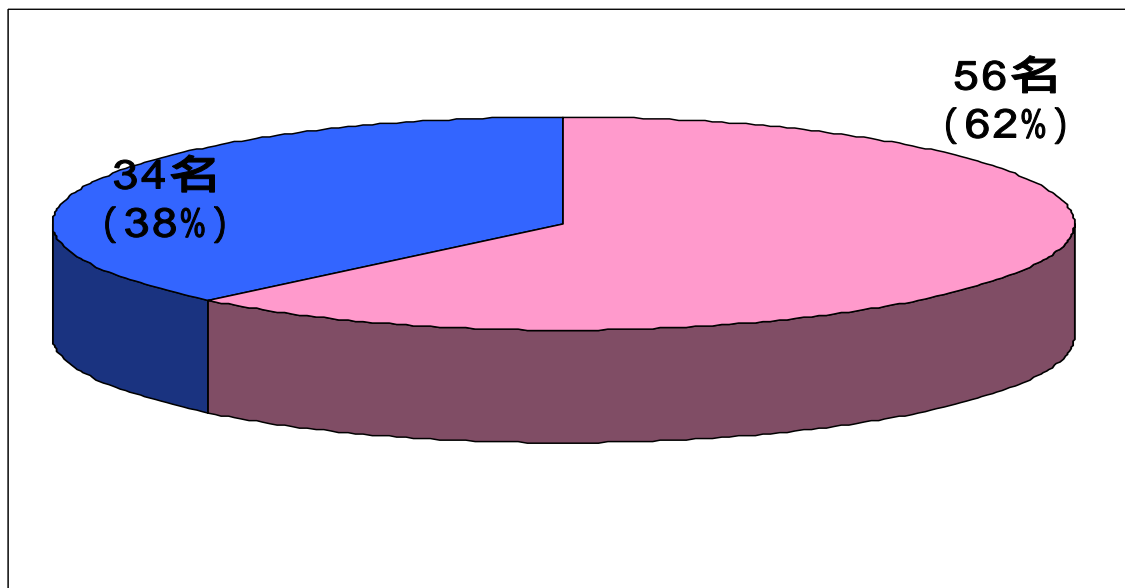


膜面積

:59.3歳
x:61.0歳



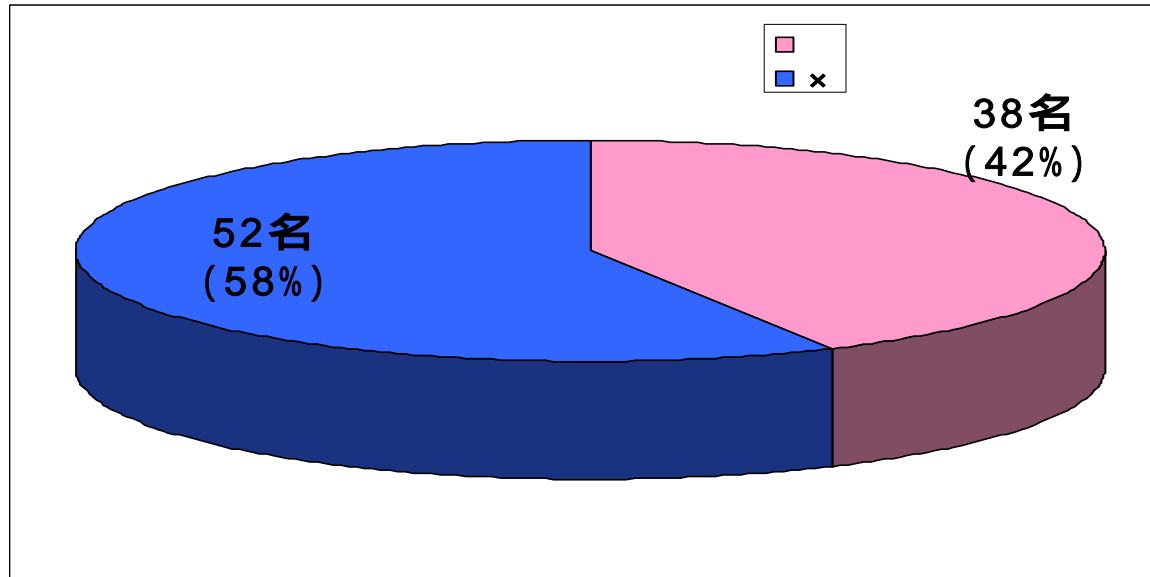
血液流量



:57.1歳
x:65.9歳

抗凝固劑

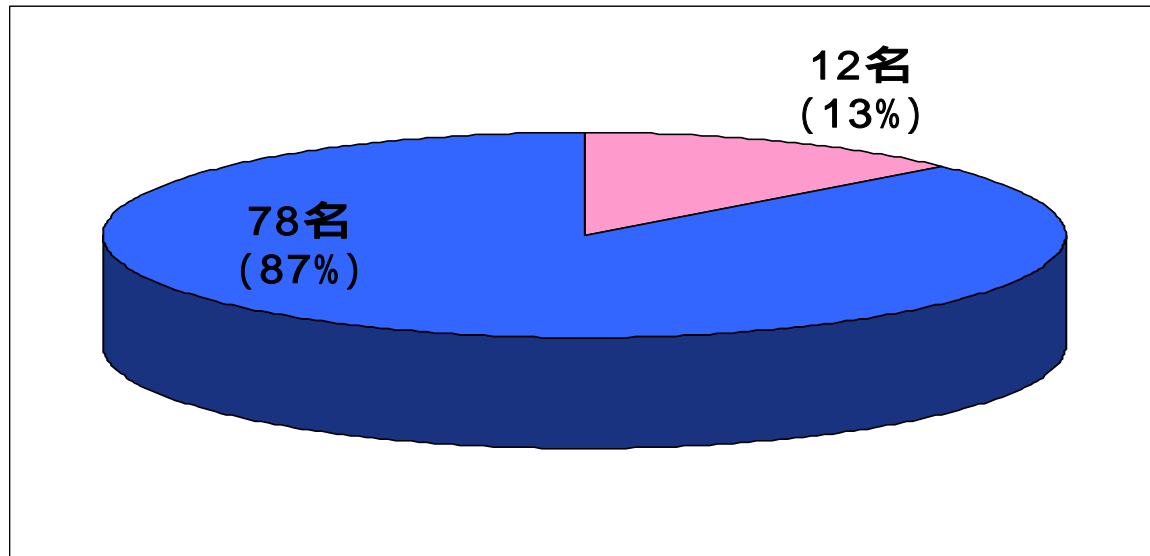
種類



:53.3歳

x:65.6歳

使用量



:58.9歳

x:60.7歳

アンケート評価、考察

- 透析開始時に、血流量、抗凝固剤の名前を患者と確認し手技を行っている為、ダイアライザ-の名前や m^2 数の認知度より高かった、と思われる。
- 腹膜透析と違って、医療従事者に頼っている部分が多い。
- 今後、毎月1日の171伝言ダイヤル時に確認をしていく。

災害時を想定したアンケートの実施

- 患者指導の一環として2パターンのアンケートを実施した。

患者自身の認識度を確認する

患者自身が透析条件をどの位理解できている
(回答：77名 平均年齢：60.2歳)

- 他の施設に行った際に、透析条件がどの位話せるか

患者自身の意識度を高める

災害時に必要な膜と自宅への備蓄について
(回答：93名 平均年齢：61.4歳)

- 全て依存するのではなく、自身で出来る事の確認

災害に備えてのアンケート 前半

現在使用されているダイライザの種類と性能について何か御存知ですか？

はい いいえ

災害時にはどのようなダイライザが必要とされるか分かりますか？

はい いいえ

災害時に現在のようにきれいな透析液が使われるとおもいますか？

はい いいえ

災害時に透析方法が何処の施設でも同様に出来ると仮定して、自身で保管しているダイライザがあれば安心ですか？

はい いいえ

はいと答えたかたへ 3本あれば1週間しのげますが、3本で4500～5000円位ですが購入しますか？

はい いいえ

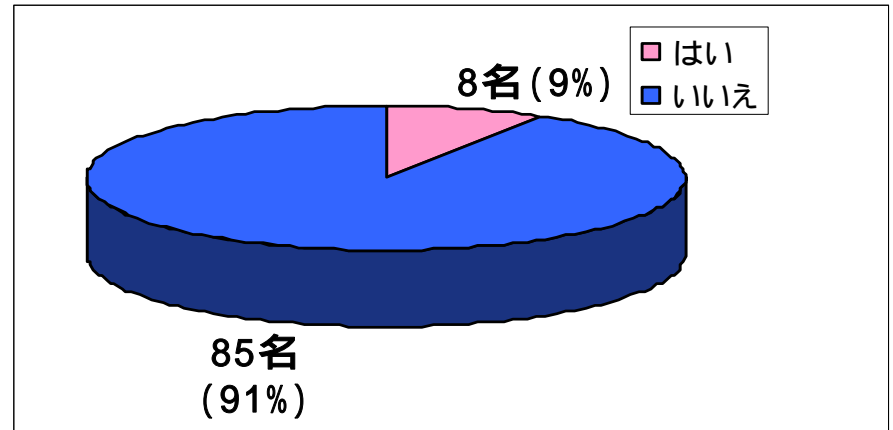
アンケート結果

(回答者数93人)

現在使用されているダイライザ[®]の種類と性能について何か御存知ですか？

はい:52.6歳

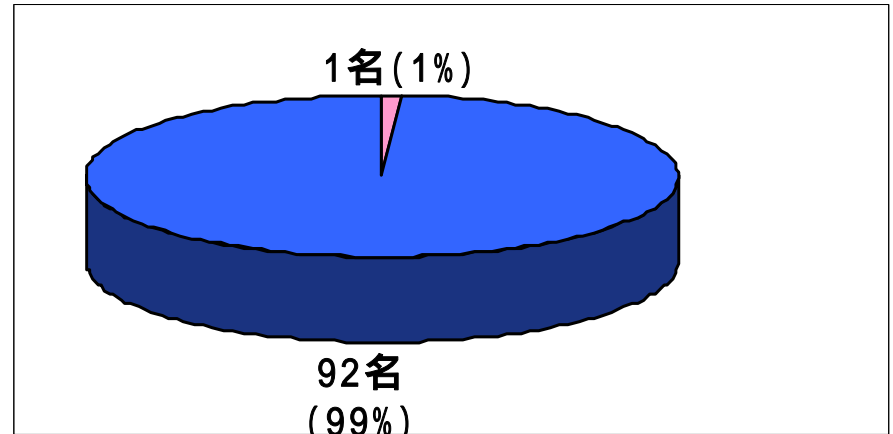
いいえ:62.2歳



災害時にはどのようなダイライザ[®]が必要とされるか分かりますか？

はい:61.7歳

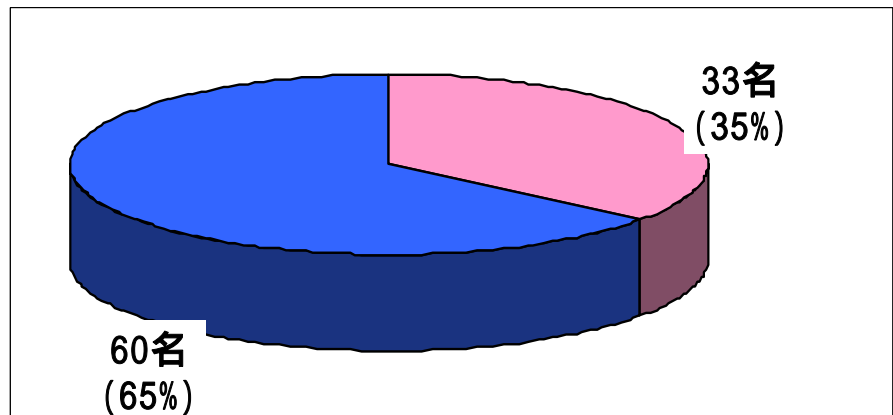
いいえ:35.0歳



災害時に現在のようにきれいな透析液が使われるとおもいますか？

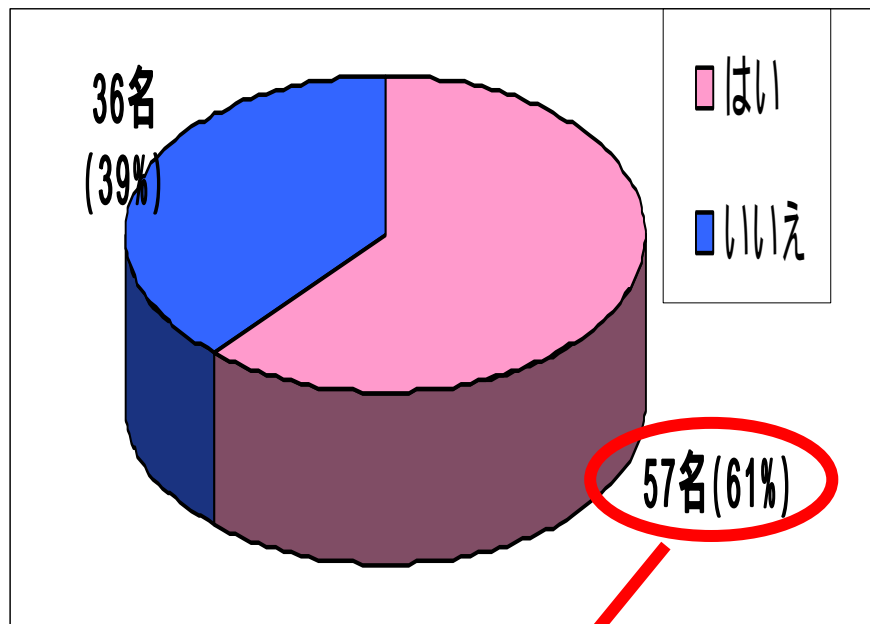
はい:66.4歳

いいえ:59.6歳



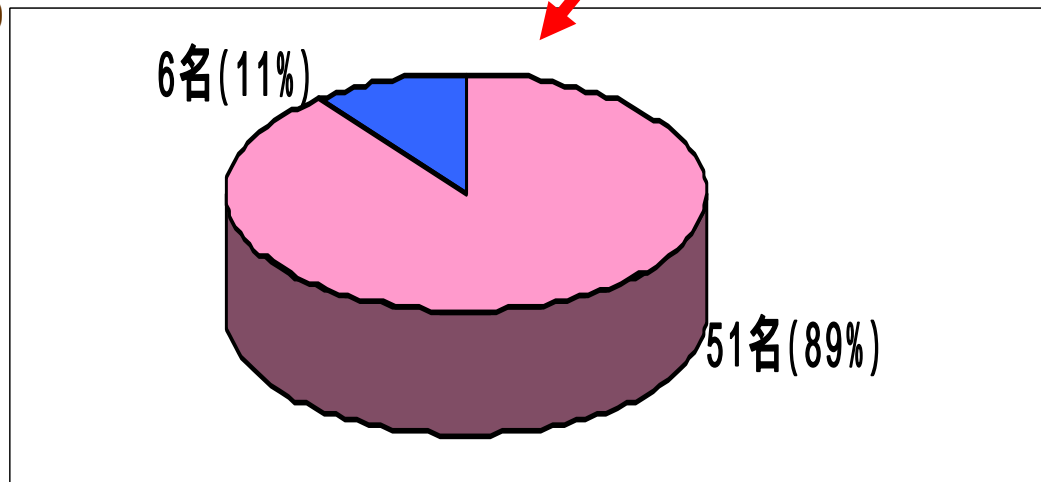
災害時に透析方法が何処の施設でも同様に出来ると仮定して、自身で保管しているダイライザーがあれば安心ですか？

はい:58.3歳
いいえ:65.9歳



はいと答えたかたへ 3本あれば1週間のげますが、3本で4500~5000円位ですが購入しますか？

はい:57.8歳
いいえ:62.3歳



災害に備えてのアンケート 後半

今回のアンケートの意図を説明

現在のダイライザ-は分類で言うと 型 型とわれるいわゆる穴の大きい膜が主流であり さんも 型を使用しています。阪神や新潟の時の教訓で水が劇的に不足します、そうすると現在皆様の使用している様な透析用への水の加工が出来なくなり水道水を直接使用する可能性が高くなります、そうすると 型 型を使用すると膜の穴が大きくてエンドキシン(細菌が出す毒素)が体内に入りやすくなります。その事態を防ぐ為に 型と言われるダイライザ-の使用が求められますが、現在の透析事情でほとんどの施設で 型が使用されていない状態です。

災害セット(食事や飲料水、懐中電灯等)は御自身で用意されている方が多いと思います

そこで皆様にダイライザ-も災害用の分は自己管理して頂く事も安心ではないかと考えられます。

そこで再度伺います

万が一に備えて、災害時に必要とされるダイライザ-を個人で購入し保管しておきたいですか？

はい

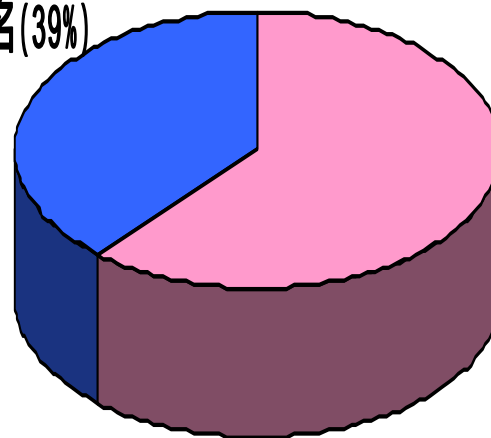
いいえ

災害時に透析方法が何処の施設でも同様に出来ると仮定して、自身で保管しているダイライザ-があれば安心ですか？

はい:58.3歳

いいえ:65.9歳

36名(39%)



はい

いいえ

57名(61%)

今回のアンケートの意図を説明した後

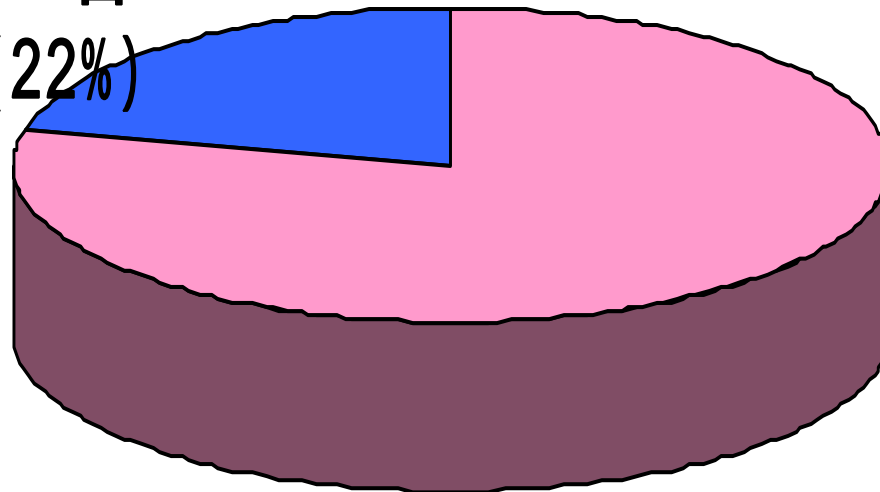
そこで再度伺います

万が一に備えて、災害時に必要とされるダイライザ-を個人で購入して頂き保管しておきたいですか？

はい:60.3歳

いいえ:65.0歳

20名
(22%)



73名
(78%)

災害時に透析方法が何処の施設でも 同様に出来ると仮定して、自身で保管
しているダイヤライザがあれば安心ですか？ (購入の意志がある)

今回のアンケートの意図を説明後の結果推移

説明前

説明後

はい

51人
(54.8%)



73人
(78.5%)

いいえ

36 + 6人
(45.2%)



20人
(21.5%)

はい: 58.3歳
いいえ: 65.9歳

はい: 60.3歳
いいえ: 65.0歳

アンケート時に聞かれた患者からの言葉

- どうせこのような対策をしてもクリニックから遠いスタッフが多くスタッフ不足で活用できるのだろうか？
- ダイライザーはやはりクリニックに保管しておいて欲しい(ご自宅に保管のメリットを説明後も自宅管理を拒否)
- 透析は毎月定額の保険料で出来るのだからわざわざ自費で購入させないで保険の中で出来るはずだ。
- 職場や透析クリニックにすることが多く、自宅に保管しておいても意味がないような気がする。
- 都外在住者なので、実際自宅周辺でダイライザー持参して受け入れてくれるのか疑問ですね？

今後の対策

- 災害時、医療従事者に全てを任せる感覚を払拭する。
- 現在、透析患者はいろいろな面で優遇されているため、災害時に優先して治療を受けられることを信じている。
- 災害時に患者自身で行えることを、自ら率先し行えるようにアンケートなどを利用し、患者教育を行っていく。
- 自身で守れることは、自身で行う。
(他力本願でなく自力本願)

【透析に必要なデータ】

透析に至った原疾患

透析導入年月日 平成7年10月16日

目標体重(DW) (48.7kg) 透析曜日(月・水・金)

透析時間 (4H)

透析器 (PES-170S α) (膜面積 1.7 m²)

血流量 (200 ml/min)

穿刺部位 (右・左) (上腕 前腕 その他)

穿刺針 (A: アーガイル 17G) (V: アーガイル 17G)

抗凝固剤 (ヘパリンNa 2500IU/4H)

透析液 (リンバック TAI)

注射薬の投与 (ネスブ 30 μ g 1/w・アスコルビン酸 1A/w・ラスカルトン10 2回/w)

禁忌薬 (リン酸コデイン: イレウス)

合併症 ()

透析中の血圧低下 (有・無)

透析中の問題点:

通常時の心臓比 (40~43 %)

感染症 HBsAg (-)、TPHA (-)、HCV (-)

平成20年8月20日現在

【被災時の代替医療機関】

- ◇ 自宅周辺 () リニック) Tel (03-) (59) 台
- ◇ 親戚・知人宅周辺 () 病院) Tel (03-3693-1515) 葛 38-13
- ◇ その他 () 高岡病院) Tel (0766-21-3930)
() 医院) Tel (0957-37-2032)

【透析施設と連絡がとれない時の情報手段】

- ◇ 台東区防災担当窓口 Tel 03-5246-1111)
- ◇ 台東保健所 Tel (03-3847-9401)
- ◇ 東京腎臓病協議会 Tel (03-3944-4048)
- ◇ 東京都救急災害医療課 Tel (03-5320-4427)
- ◇ NTT災害用伝言ダイヤル Tel (171)
- ◇ 東京都区部災害時透析医療ネットワーク (<http://www.tokyo-hd.jp/index.php>)
- ◇ 日本透析医会災害時情報ネットワーク (<http://www.saigai-touseki.net/>)